PART No.________________

Hi☆Pai パラダイス2 温泉に行こうよ!

― 基板キット 取扱説明書 ―

注意

◆本製品を安全に正しく使用していただくために、使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、十分に理解してください。

◆この説明書は、お読みになった後、いつでも使用できるように必ず所定の場所に保管してください。

◆この説明書と合わせて、搭載する筐体の取扱説明書もお読みください。

《はじめに》

このたびは、お買い上げ誠にありがとうございます。
本書は、本製品の所有者、管理者、運営者の方を対象としたものです。
本書では、設置、運営、保守、点検、移動など、本製品を安全にご利用いただくための方法が説明されています。本製品の設置、運営、保守、点検、移動などにあたっては、本書を熟読、理解された方が行うようにしてください。また本書は、日常運営時など、必要な際にすぐ見られるよう大切に保管してください。また、本製品を移設・転売する際には、必ず本書を添付してください。
本製品の部品交換、保守、点検、及び異常時の対処は、店舗メンテナンスマン又は技術者の方が行ってください。

店舗メンテナンスマン

店舗メンテナンスマンとは、ＡＭ機器のメンテナンスの経験を有し、ＡＭ機器の所有者及び運営者の管理のもとに、ＡＭ施設内または店舗内で、日常的にＡＭ機器の組立設置、保守点検、ユニット及び消耗部品の交換などを通じて機器の保守管理に携わる人をいう。

技術者

技術者とは、ＡＭ機器製造メーカーで機器の設計、製造、検査、メンテナンスサービスに携わる人、並びに工業高等学校卒業と同等以上の電気・電子・機械工学に関する専門知識をもち、日常的にＡＭ機器の保守管理、修理に携わる人をいう。

※本書を破損、紛失された場合、本書裏表紙に表記された弊社ＡＭ営業課までご連絡ください。

《安全上の注意》

この「安全上の注意」には、人身事故や財産への損害を未然に防ぐと同時に、本製品を安全に使用していただくために必ずお守りいただきたい事項を記載しています。これらの事項を十分に理解した上で、本製品をご使用ください。

◎シグナルワードについて◎

警告	注意
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

警告

◆本製品を指定された筐体以外では使用しないでください。火災や感電などの原因となります。

◆本書の説明、指定の手順に従って設置してください。手順に従わない場合、感電事故やケガの危険があります。

◆移動する前に筐体の電源プラグ及び本製品のコネクターを抜いてください。故障や感電の原因となるだけでなく、コードにつまずいてケガをする原因にもなります。

◆移動時に筐体の電源コード、アース線及び本製品のハーネスを傷つけないでください。事故や故障の原因となります。

◆電源は必ずＡＣ１００Ｖ±１０Ｖコンセントを使用してください。また、電源プラグは必ず専用コンセントを設けて、そこに接続してください。同一ラインに大容量の機器（エアコンや大型筐体など）を接続している場合、火災や感電事故の原因となります。

◆アース線は必ず取り付けてください。アース線を取り付けないと、漏電の時、感電事故の原因となります。

◆コンセントとアース線は最短距離で設置し、電源コードが露出しない様に配線してください。またやむを得ず、電源コードが露出する場合は、必ず保護カバーなどでしっかり保護してください。配線が通路上などに露出していると、コードが傷ついて火災や感電などの原因となるだけでなく、コードにつまずいてケガをする原因にもなります。

◆電源コード及び本製品のハーネスを傷つけたり、加工したり、重いものを乗せたり、また熱器具に近づけないでください。コードが破損し、火災や感電事故の原因となります。

◆本製品は日本国内でのみご使用ください。海外で使用されると事故や故障の原因となります。

◆次の場合は、直ちに電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いてください。もし、そのままの状態で使用すると火災や感電などの事故の原因となります。

◎故障をおこした場合

◎破損した場合

◎内部に水や異物などが入った場合

◎発煙や異臭、異音が生じた場合

◆筐体背面にある通気穴を壁などでふさがないでください。装置内部が高温となり火災や故障の原因となります。

◆保守をする際には必ず本体の電源を切ってから行ってください。電源を切らない場合、感電事故の原因となります。

◆各種基板の修理は当社にて行いますので、テスターを使っての導通検査は行わないでください。テスターの内部電圧でＩＣが破壊される場合があります。

◆お客様ご自身による模倣、改造行為は、絶対に行わないでください。火災や感電事故の原因となります。

◆機械に使用する部品は、当社指定のもの以外を使用しないでください。事故や故障の原因となります。

◆本製品の各コネクターの接続は、確実に行ってください。差し込み不足や、誤った接続は火災や感電などの原因となります。

⚠ 注意

◆電源コード及び本製品のハーネスは人が踏んだり蹴ったりするような通路には出さないでください。事故やケガの原因となります。

◆使用適用温度（周囲温度）５℃～３５℃の場所に設置してください。適用温度の範囲を超えると故障の原因となります。

◆移動・運搬の際は、大きな衝撃を与えないように注意してください。破損や故障の原因となります。

◆不用意に基板上のスイッチ類には手を触れないようにしてください。スイッチの設定が変わると正常に動作しなくなります。

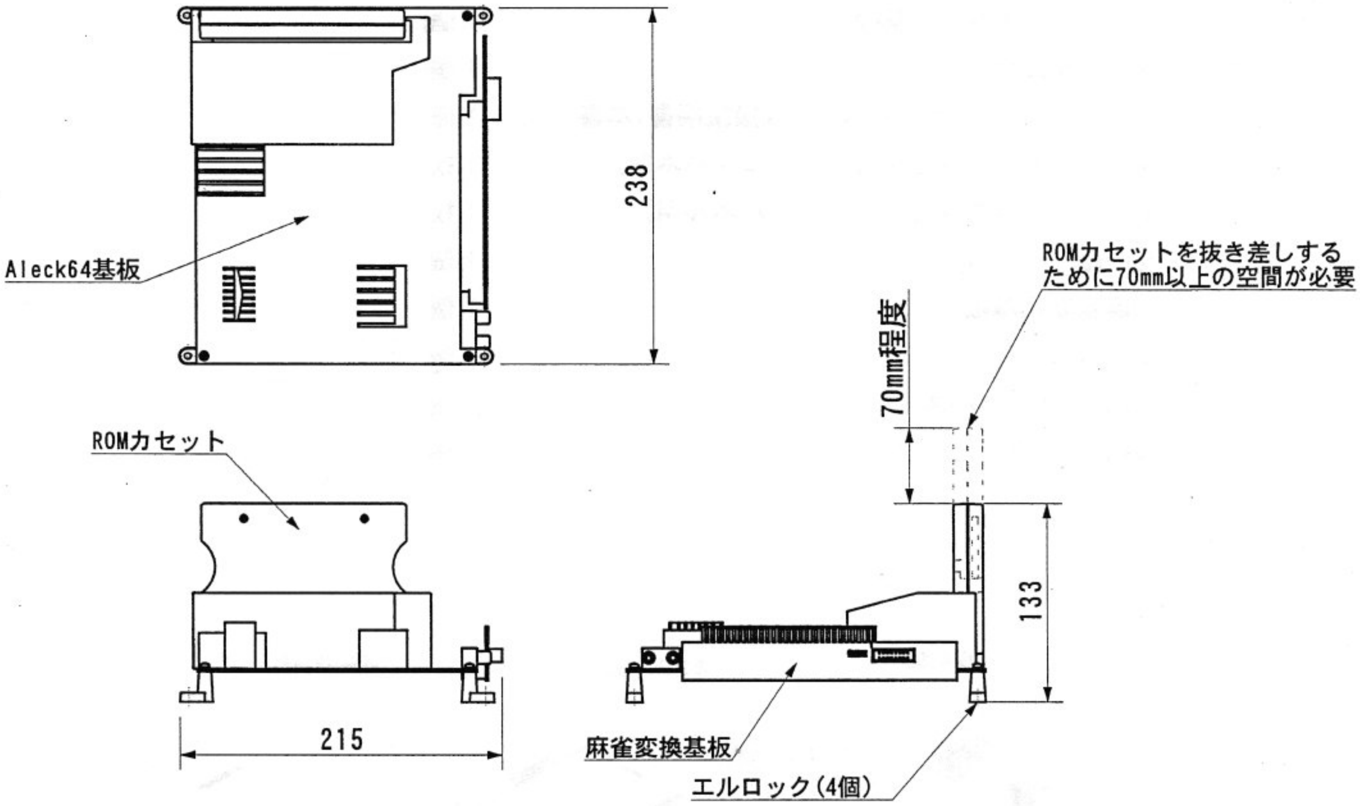
◆本製品を廃棄する場合は、法令に従った収集・運搬および処分を行ってください。

◆本製品を廃棄する際の収集・運搬及び処分を他に委託する場合は、各々専門業者に委託してください。

《目次》

#《製品仕様》

本製品は、「新スーパーリアル麻雀シリーズ　Hi☆Pai パラダイス２」を下記筐体に搭載するための基板キットです。



１）プレイ人数　　：１人用
２）モニター周波数：１５ｋＨｚ
３）運営条件　　　：屋内用
４）使用適用温度　：５℃～３５℃
５）搭載可能筐体　：第２版 JAMMA 規格筐体
６）寸法(組立時)　：２１５(W)×２３８(D)×１３３(H)

・ハーネスは含みません。

・ROM カセットの抜き差しのため高さ方向に７０mm 以上の空間が必要です。

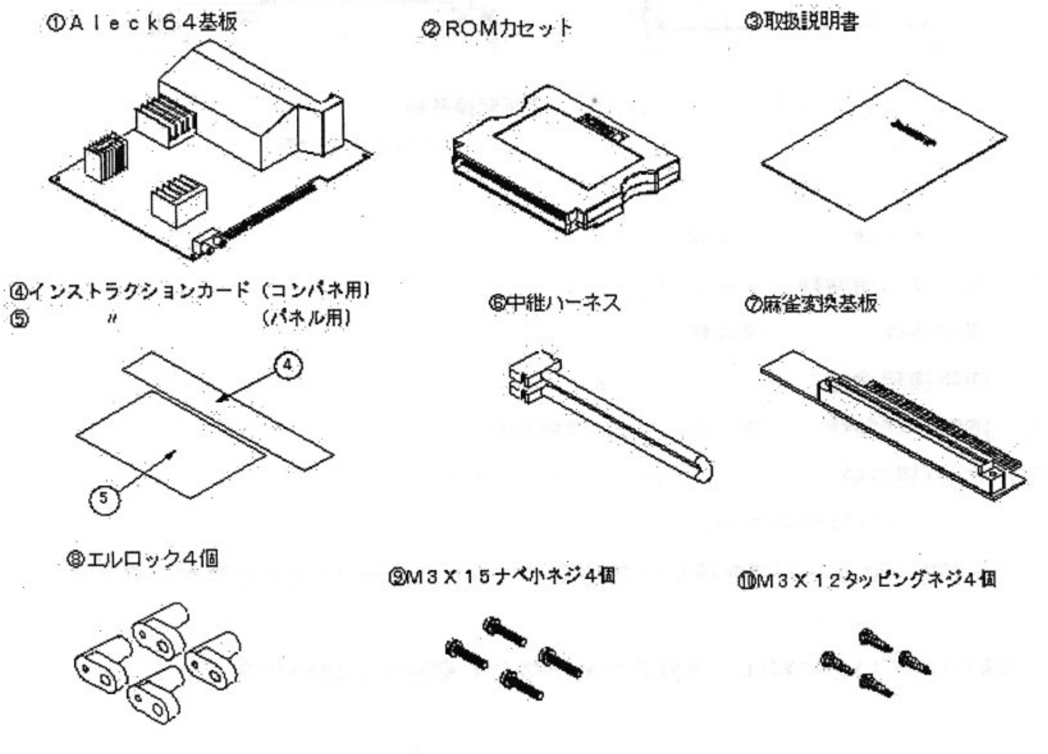
※表記されている内容は、改良のため予告なく変更する場合があります。

警告	◆本製品を上記以外の筐体で使用しないでください。火災や感電などの原因となります。

《梱包の確認》

本製品は、以下の内容で構成されています。まず初めに以下の内容物がすべて揃っていることを確認してください。

①Ａｌｅｃｋ６４　基板	１個
②ＲＯＭカセット	１個
③『Hi☆Pai　パラダイス 2』取扱説明書(本書)	１冊
④インストラクションカード（コンパネ用）	１枚
⑤インストラクションカード（パネル用）	１枚
⑥中継ハーネス	１個
⑦麻雀変換基板	１個
⑧エルロック	４個
⑨M3×15 ナベ小ネジ	４個
⑩M3×12 タッピングネジ	４個



《取り付け方法》

> **警告**
>
> ◆作業をする際には必ず本体の電源を切ってから行ってください。電源を切らない場合、感電事故の原因となります。
>
> ◆各コネクターの接続は確実に行ってください。差し込み不足や、誤った接続は火災や感電などの原因となります。
>
> ◆アース線は必ず取り付けてください。アース線を取り付けないと、漏電の時、感電事故の原因となります。

【作業手順】

0）はじめに

作業に入る前に以下のものを準備してください。

●使用可能な筐体

●筐体付属品　　　　　：鍵、取扱説明書など全て

●工具類　　　　　　　：プラスドライバー

●キット同梱品一式

＜必要に応じて用意するもの＞

○基板取り付け用の木板

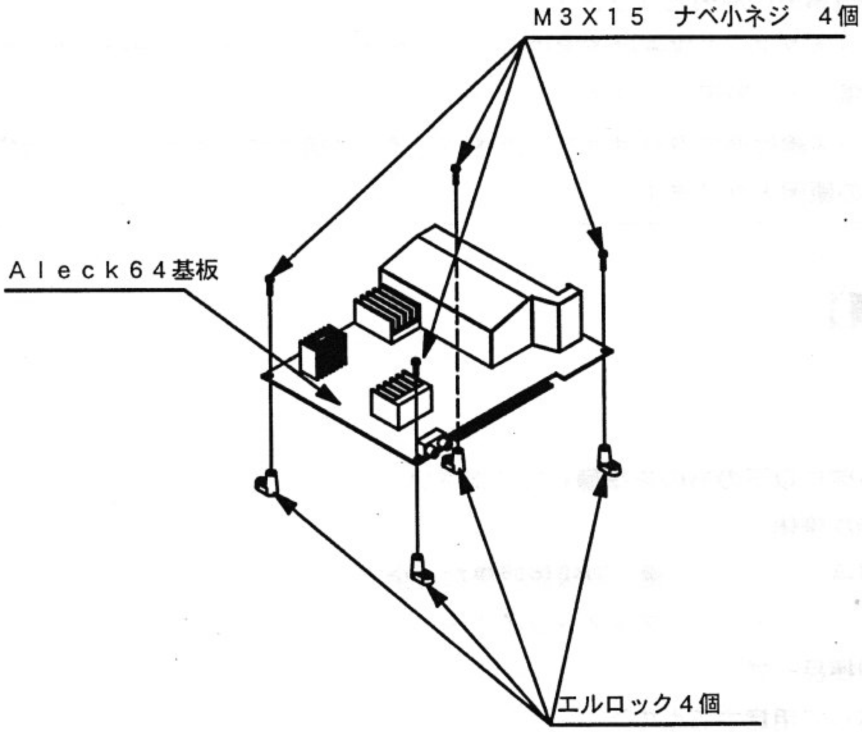
（サイズは、各社筐体既存の基板取り付け用板を参考にしてください。）

※本製品にはＡｌｅｃｋ６４基板を取り付けるための木板は付属されて下りません。
各社筐体に既存の基板取り付け用板を利用するか、別途木板を御用意ください。

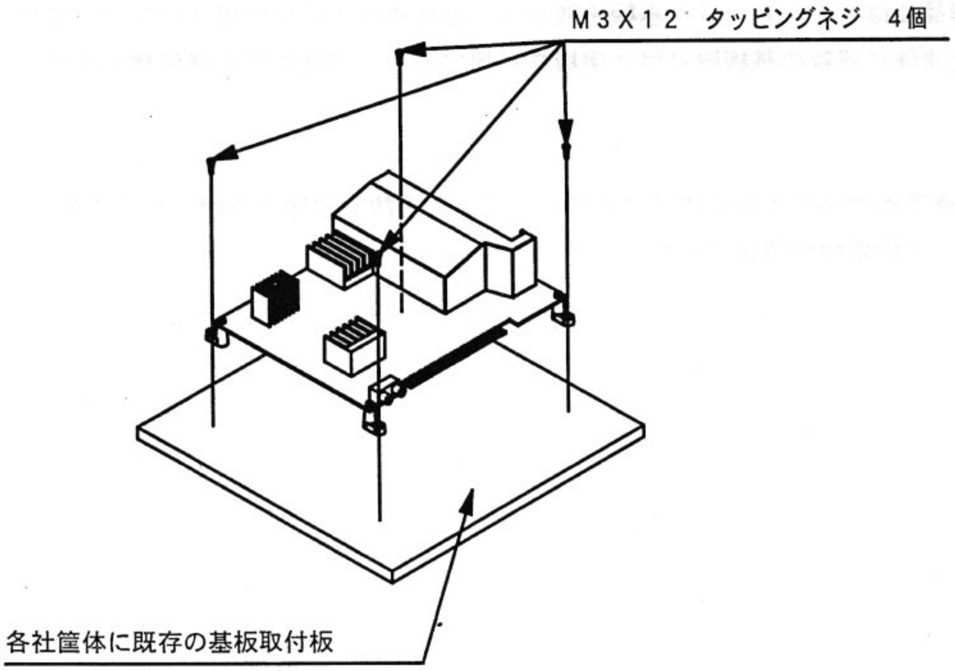
> **警告**
>
> ◆基板は必ず木板に取り付けてください。事故や故障の原因となる以外に、漏電の時、感電事故の原因にもなります。

1）基板の設置

①プラスドライバーを使用し、Ａｌｅｃｋ６４基板にエルロック４個をＭ３×１５ナベ小ネジで図のように取り付ける。



②①で組み立てた物を基板取り付け用の木板にＭ３×１２タッピングネジで取り付ける。

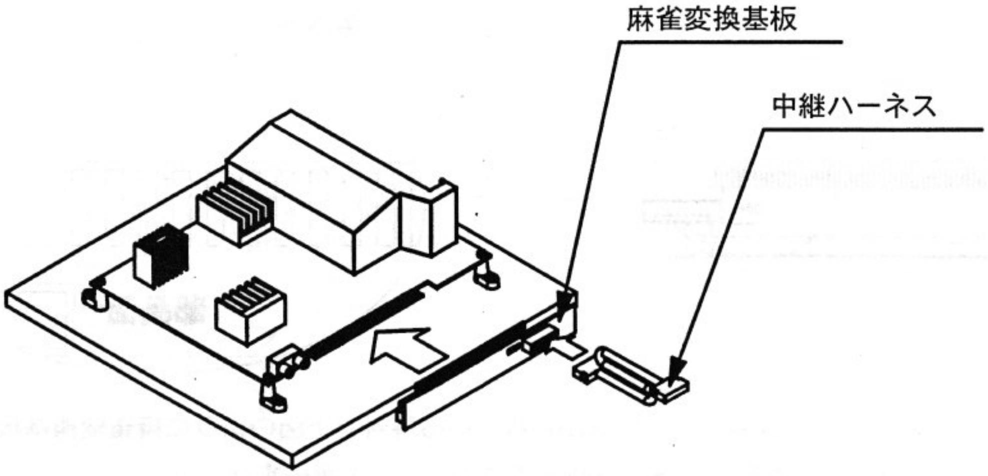


（本製品には，基板取付用の板は付属されていません。）

2）Ａｌｅｃｋ６４基板対応ＲＯＭカセットのセッティング

①麻雀変換基板及び中継ハーネスの取り付け

麻雀変換基板と中継ハーネスを下図のように Aleck64 基板に取り付ける。



②ＲＯＭカセットの取り付け

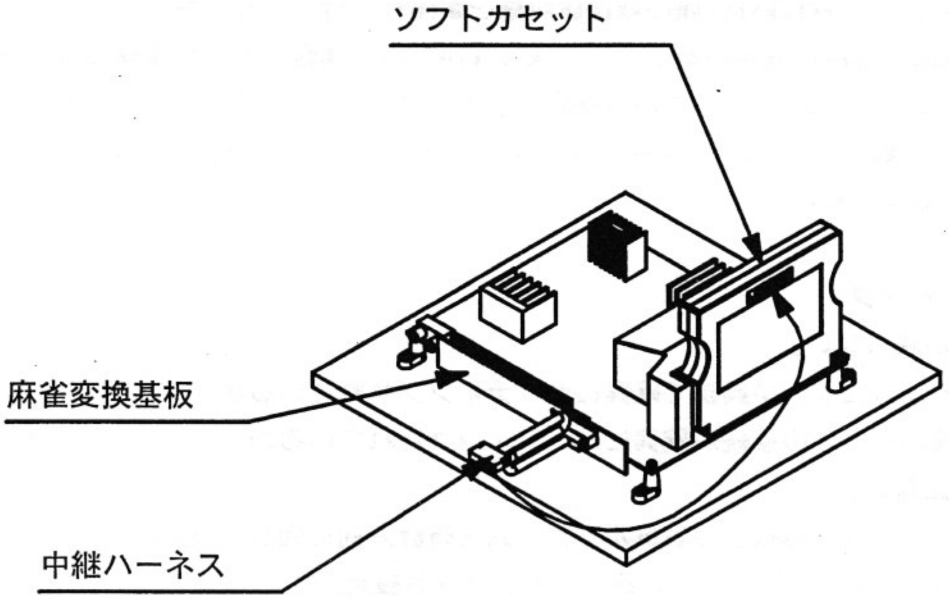
ＲＯＭカセットのタイトルラベルをＡｌｅｃｋ６４基板の外側に向けて、スロットに沿って奥まで確実に装着して下さい。（下図参照）

※スロット内にはＡｌｅｃｋ６４対応ＲＯＭカセット以外は差し込まないで下さい。
故障の原因になります。

※スロット内にゴミが入らないよう注意して下さい。

③中継ハーネスの接続

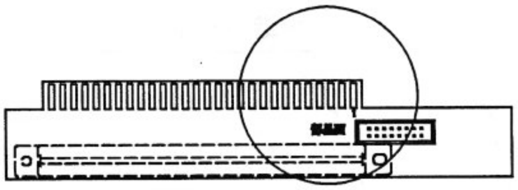
中継ハーネスをＲＯＭカセットのコネクターに接続する。（下図参照）



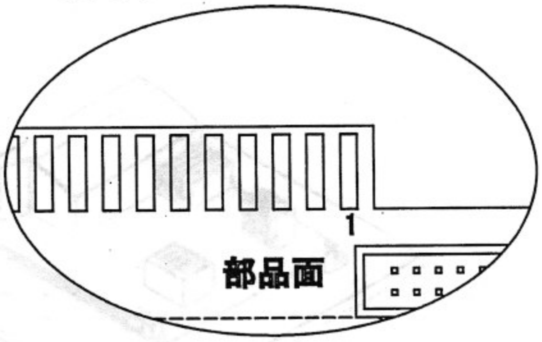
④56P エッジコネクター（麻雀用）の取り付け

麻雀変換基板に筐体側の５６Ｐエッジコネクター（麻雀用）を取り付けて下さい。

※56P エッジコネクターを取り付ける際に下記の点に注意してください。



拡大図



（注意！）５６Ｐエッジコネクターに刻印されている番号と上図のように麻雀変換基板に刻印されている番号が一致する向きでコネクターを接続すること。

《電源投入について》

警告	◆アース線は必ず取り付けてください。 アース線を取り付けていないと漏電の時、感電事故の原因になります。

（1）基板キットの取り付けがすべて完了したら、電源を投入して下さい。

※電源の投入に関して、各社筐体付属の取扱説明書を参照して行ってください。

※電源投入後、画面や音声に異常があったり、映らなかったら場合、すぐに筐体の電源を切り、ＲＯＭカセットのセッティングから確認して下さい。

（2）正常に立ち上がった後、テストモードの「ＩＮＰＵＴ　ＴＥＳＴ」で、マージャンコンパネの入力テストを確認して下さい。

◎トラブルシューティング

1）症状：「画面が映らない」

確認：①ゲームカセットが奥まで確実にセッティングせれているか

②各種ハーネスの接続が確実にセッティングされているか

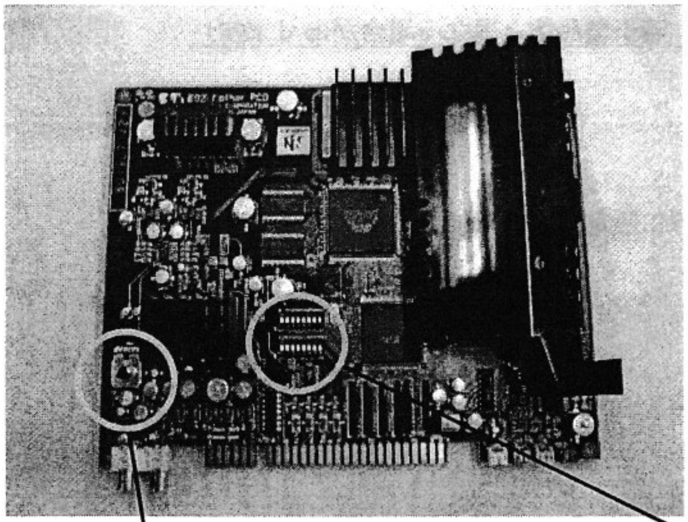
2）症状：「音が出ない」

確認：Ａｌｅｃｋ６４基板上の音量ボリュームを時計方向に回してみる。

確認：dipsw2-6 が off になっている（デモサウンド設定）

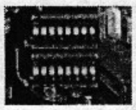
《設定》

【音量ボリューム及び DIP スイッチの位置】





音量ボリューム



DIP **スイッチ**
（上：SW1、下：SW2）

○音量の設定：

音量を上げる：音量ボリュームのつまみを時計周りに回す。

音量を下げる：音量ボリュームのつまみを半時計周りにまわす。

○コイン設定：

ＤＩＰスイッチＳＷ１（写真上側）を変更し設定します。

○ゲーム設定：

ＤＩＰスイッチＳＷ２（写真下側）を変更し設定します。

※コイン設定及びゲーム設定の詳細は、Ｐ１１の「ＤＩＰスイッチについて」の表を御参照下さい。

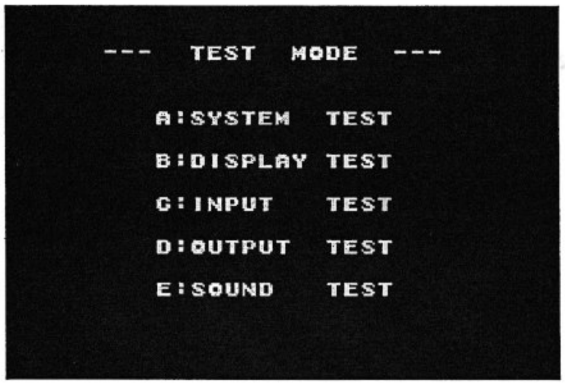
《テストモードについて》

テストモードは、主に基板の正確な動作確認やモニターのカラー調整に使用します。
（記載された画面のイメージは開発中のもので、若干製品版と異なる場合があります）

（１） テストモードの入り方

① 電源が切ってあることを確認します
② ディップスイッチ２－８をテストモードに設定します（ON 側に入れる）
③ 電源を入れます
④ テストモードの画面が表示されます

（２） テストモードの構成



テストモードは下記の構成となっています。
実行したい項目に該当するボタンを押すことで、各モードに入ります。

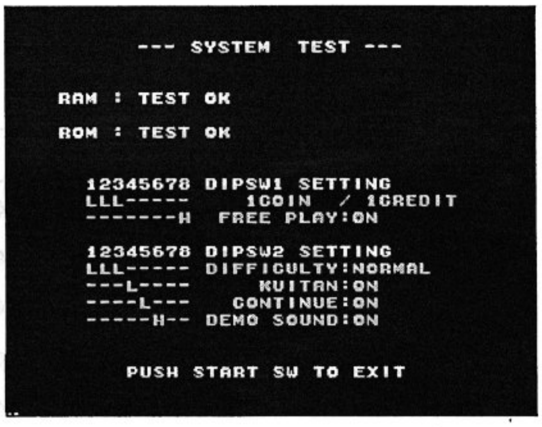
	選択するボタン	項目	内容
TESTMODE	A:	SYSTEM TEST	現在のディップスイッチの確認及び設定の表示　等
	B:	DISPLAY TEST	モニターの調整用画面の表示
	C:	INPUT TEST	各スイッチの入力状態のテスト
	D:	OUTPUT TEST	各スイッチの出力状態のテスト
	E:	SOUND TEST	ゲーム中のサウンドのチェック

（３）各テスト項目について

（３－１）SYSTEM TEST

この項目に入ると、自動的にＲＯＭ，ＲＡＭテストを実行します。
問題がない場合は、ＯＫ　という表示がされます。
また、現在のディップスイッチの状況が表示されます。

ＯＦＦの部分はＬ、ＯＮの部分はＨ　と表示されます。
また、ディップスイッチに応じた、
現在の設定状況も表示されます。



ディップスイッチ１はコインに関する設定、
ディップスイッチ２はゲームの設定、
各種モード設定　等の変更となります。
（詳細はディップスイッチ対応表をご覧下さい）

設定を変更したい場合は、
下記に示す「ディップスイッチ対応表」を参考にして変更を行って下さい。
また、「ＳＴＡＲＴ」ボタンを押すことで、
モードから抜けます。

DIP SW1 :　　コイン設定

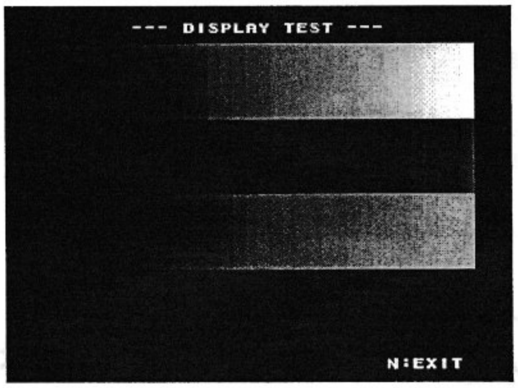
		1	2	3	4	5	6	7	8
コイン設定	1COIN 1CREDIT	OFF	OFF	OFF					
	1COIN 2CREDITS	ON	OFF	OFF					
	1COIN 3CREDITS	OFF	ON	OFF					
	1COIN 4CREDITS	ON	ON	OFF					
	2COINS 1CREDIT	OFF	OFF	ON					
	3COINS 1CREDIT	ON	OFF	ON					
	4COINS 1CREDIT	OFF	ON	ON		変更しないで下さい			
	5COINS 1CREDIT	ON	ON	ON					
バックアップ設定	する							OFF	
	しない							ON	
フリープレイ	しない								OFF
	する								ON

注意　**クレジット最大数は９となっており、変更はできません**

DIP SW2:　各種設定

		1	2	3	4	5	6	7	8
難易度	普通(NORMAL)	OFF	OFF	OFF				変更しないで下さい	
	簡単(VERY EASY)	ON	OFF	OFF					
		OFF	ON	OFF					
		ON	ON	OFF					
		OFF	OFF	ON					
		ON	OFF	ON					
		OFF	ON	ON					
	難しい(VERY HARD)	ON	ON	ON					
喰い断	有り				OFF				
	無し				ON				
コンティニュー	有り					OFF			
	無し					ON			
デモサウンド	無し						OFF		
	有り						ON		
モード	ゲームモード								OFF
	テストモード								ON

(3－2) DISPLAY TEST



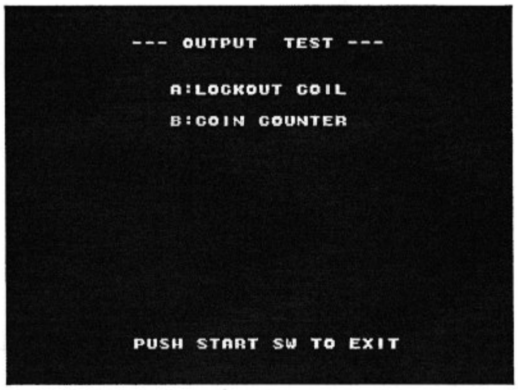
下記の画面が表示されます。
画面サイズ、歪み、色調の確認、および、
設定変更の際の目安として使用して下さい。
「N」ボタンを押すことで、モードから抜けます。

（３－３）INPUT TEST



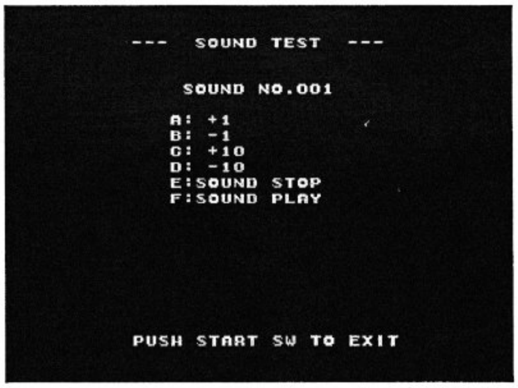
このモードでは各種ボタン、スイッチの入力が正しく
実行されているかを確認することができます。
入力が正常の場合は、スイッチを押している間、
該当する部分が白く表示されます。
「ＳＴＡＲＴ」と「Ａ」を同時に押すことで
モードから抜けます。

（３－４）OUTPUT TEST



コインのロック装置、コインカウンターが
正常に動くかテストできます。
該当するボタンを押すと、
正常な場合は動作が行われます。

（３－５）SOUND TEST



ゲーム中の各種サウンドをチェックします。
テストしたいサウンド番号は、Ａ～Ｄのボタンを
押すことで変化します。
Ｆボタンを押すとサウンドが再生され、
Ｅボタンで停止します。

《ＤＩＰスイッチについて》

DIP SW1:　コイン設定･フリープレイ設定

		1	2	3	4	5	6	7	8
コイン設定	1COIN 1CREDIT	OFF	OFF	OFF					
	1COIN 2CREDITS	ON	OFF	OFF					
	1COIN 3CREDITS	OFF	ON	OFF					
	1COIN 4CREDITS	ON	ON	OFF					
	2COINS 1CREDIT	OFF	OFF	ON					
	3COINS 1CREDIT	ON	OFF	ON					
	4COINS 1CREDIT	OFF	ON	ON		変更しないで下さい			
	5COINS 1CREDIT	ON	ON	ON					
バックアップ設定	する							OFF	
	しない							ON	
フリープレイ	しない								OFF
	する								ON

DIP SW2:　各種設定

		1	2	3	4	5	6	7	8
難易度	普通(NORMAL)	OFF	OFF	OFF					
	簡単(VERY EASY)	ON	OFF	OFF					
		OFF	ON	OFF					
		ON	ON	OFF					
		OFF	OFF	ON					
		ON	OFF	ON					
		OFF	ON	ON					
	難しい(VERY HARD)	ON	ON	ON					
喰い断	有り				OFF				
	無し				ON				
コンティニュー	有り					OFF			
	無し					ON			
デモサウンド	無し						OFF		
	有り						ON		
モード	ゲームモード								OFF
	テストモード								ON

ARUZE 2004-4

Printed in Japan

本製品に関する故障·修理のお問い合わせは下記まで。

アルゼ株式会社　　四街道工場内　ＡＭサービス係

〒284-0033　　TEL. 043-432-1582

千葉県四街道市鷹の台１丁目１番　　FAX. 043-432-2101

- 本製品に関するお問い合わせは下記まで。
- 本書を破損、紛失された場合は、下記の連絡先までご連絡下さい
- 製品の仕様及び取扱説明書の内容については、改良のため予告なく変更されることがあります。

〒135-0063
東京都江東区有明３－１－２５
有明フロンティアビルＡ棟　アルゼ株式会社　営業本部　ＡＭ営業課
TEL. 03-5530-3086　　FAX. 03-5530-3420